

報道関係者各位

2020 年 12 月 28 日

日本証券業協会

東大×日本証券業協会
「大学債／ソーシャルボンドカンファレンス
初の大学債 発行の意義と SDGs への貢献」の開催について

日本証券業協会と東京大学*は、2021 年 1 月 15 日（金）、ソーシャルボンドとして発行された大学債（東京大学 FSI 債）をテーマとしたカンファレンスについて、会場による参加に加え Zoom 参加も可能とするハイブリット方式で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

東京大学は 2020 年 10 月、ソーシャルボンドとして 200 億円の大学債を発行しました。本年のソーシャルボンド国内公募発行額は現時点においても 6,500 億円を超え、昨年を大きく上回るなど、ソーシャルボンド市場は広がりを見せつつあります。本カンファレンスにおいては、大学債の社会的意義、資金調達手段としての役割、大学債のソーシャル性・SDGs への整合性、ソーシャルボンドの現状と課題を探る機会としたいと存じます。具体的なプログラム内容は次ページをご覧ください。

報道関係者の皆さまにおかれましては、会場でのご参加も優先的に可能としております（ソーシャルディスタンスを考慮した座席としております）。ご参加いただける場合には、下記リンク先、QR コードよりお申込みいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

【関係者用登録フォーム】 <https://fofa.jp/jsda/a.p/278/>



以上

○本件問合せ先：SDGs 推進本部 SDGs 推進室 森川、小田 （TEL：03-6665-6783）

* 東京大学では、2015 年の五神総長着任時、大学全体の高次元の目標として SDGs を盛り込んだ長期ビジョンを掲げています。2017 年 7 月には、SDGs を活用した「知」への投資（知へのリスクマネーの供給、資金の好循環）を目指し、総長を本部長とする「未来社会協創推進本部」（FSI）を設置し、SDGs に関連する取組みを実施しています。

東京大学 × 日本証券業協会

大学債／ソーシャルボンドカンファレンス

初の大学債 発行の意義と SDGsへの貢献

東京大学が2020年10月、東京大学FSI債をソーシャルボンドとして200億円発行しました。2020年のソーシャルボンド国内公募発行額は、8,000億円を超え、2019年発行額を大きく上回るなど、本国ソーシャルボンド市場は広がりを見せつつあります。

そこで今回、東京大学と日本証券業協会の共催により、大学債（東京大学FSI債）の社会的意義、大学の資金調達手段としての債券の役割、大学債のソーシャル性・SDGsへの整合性、ソーシャルボンドの現状と課題等といった内容をテーマにしたカンファレンスを開催します。

<プログラム>

10:30 歓迎・開会挨拶



東京大学 総長
五神 真



日本証券業協会 会長
鈴木 茂晴

10:40 基調講演・講演



基調講演
東京大学FSI債（東大債）
発行の意義
東京大学 副学長
坂田 一郎



講演
SDGs債
特にソーシャルボンドの意義
日本証券業協会 副会長・専務理事
岳野 万里夫

11:00 パネルディスカッション

大学債発行の実際、 市場の反応、今後の課題

モデレーター

日本証券業協会 特別顧問 川村 雄介

パネリスト

- ・東京大学 副理事（財務制度改革、資金・資産運用） 平野 浩之氏
- ・株式会社日本格付研究所 サステナブル・ファイナンス評価部長
チーフ・サステナブルファイナンス・アナリスト 梶原 敦子氏
- ・文部科学省 国立大学法人法 改正等担当者（調整中）
- ・大和証券株式会社 デット・キャピタルマーケット部
オリジネーション課 米上 広成氏

30min ディスカッション 30min 質疑応答

参加登録はこちら



日付

2021年1月15日 金

時刻

(開始) 10:30 ▶ 12:00 (開場 10:15)

場所

太陽生命日本橋ビル26階大会議室
東京都中央区日本橋2-11-2(受付6階)

又は

オンライン

<https://webform.adm.u-tokyo.ac.jp/Forms/1605684760/>

主催



日本証券業協会
JSDA Japan Securities Dealers Association

※予告なく記載内容は変更される場合があります。
※新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、オンラインのみの開催とする場合もあります。